



慶祝公園に丹精込めて植樹

憩の森の実現に夢ふくらむ

町では、町村合併30周年を記念して、坊沢字深関地内に1.2ヘクタールの慶祝森林公園を設定しましたが、晴天に恵まれた10月22日午前8時30分から、記念植樹が行われました。申込みされた年祝いや誕生祝い、受賞者など61人と、町、林業関係者約200人が参加。クワやスコップを手に、吉野桜、ナナカマド、アジサイ、琉球ツツジを丹精込めて植え、花咲く憩いの森の実現に夢をふくらませていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

9月30日現在		(前月比)	
総人口	25,029人	(4人減)	
(出生)	18人	転入	53人
(死亡)	19人	転出	56人
男	12,187人	(2人減)	
女	12,842人	(2人減)	
世帯数	7,292世帯	(12世帯減)	

「ふるさと会」の東京交流会を開催

「在京鷹巣会」結成の気運高まる



なつかしい顔ぶれ71人が参加

鷹巣町ふるさと会東京交流会が、九月二十八日午後一時三〇分から、東京都・全国都道府県会館で開かれ、関東在住の町出身者七十一人が参加。町からは町長、助役らが出席して、盛会な交流会となりました。

町では、農林産物の販路開拓のため、昨年「ふるさと会」を実施し、新鮮なふるさとの香りを、町出身者に届けています。が、会員とふるさとの絆を一層深めるため、東京交流会が実現したものです。

会場の都道府県会館には、東京、神奈川、千葉、埼玉、栃木などから七十一人が出席。出川

町長は、各方面で活躍されている方がたに感謝するとともに「東北自動車道の開通で首都圏の時間短縮が図られた。皆さんの力添えて企業誘致、販路開拓などを解決したい」とあいさつ。

町出身者の近藤礼二郎さん（材木町）、小坂隆雄さん（摩当）成田富治郎さん（舟見町）などが近況を報告されました。

また、墨田区県人会長として活躍されている千葉秀雄さん（中屋敷）が、「気楽に話せる在京者の鷹巣会を結成したい」と提案し万場の賛成をえました。

出席者のなかには、上京してから初めて顔を合せた人や親戚同志、同級生がさそい合って参加したという人たちが会場は埋まり、懇親会は、なつかしい鷹巣弁がポンポン飛び出して、思ひ出話しに花を咲かせながら盃を交していました。

来年は、ぜひ在京鷹巣会を結成して、多くの町出身者を募ろうと、氣勢があがるなど、ふるさとと交流を深め、感激深げに楽しい一日を過ごしていました。



町長日誌

出川 禮一

10月1日～15日

■1日（水）大野台の里の開設二十周年記念式典に出席。
■3日（木）5日（土）県町村会農林商工委員会研修視察で、徳島県及び香川県内の町を調査視察した。

■5月（開校）五月から開設されていた朝起きテニス教室の閉講式に出席したあと、午前八時に鷹巣郵便局前をスタートする全県駅伝高校の部のスターターをつとめた。

■7日（土）おはよう野球全県大会で、鷹巣バツファロー

ズが優勝し祝賀会が開かれた。職場の違う同好者チームだけに、偉業を心から誉め称えた。

■8日（水）特別養護老人ホーム青山荘の開設十五周年記念式典。同施設は県内で二番目に開設され、現在の入所定数は百七人。設置以来、関係機関などの指導援助と、役職員の間での奉仕の精神が発揮され、剩つさず昨今の入所増に対応し、一時的にしろ短期入所の設備がことし造られた。「町としても在宅福祉の延長として、独自の建物と

設備を加え、有機的、弾力的に多くの利用ができるよう、委託も考えたい」と祝辞を述べた。

■10日（土）国民総てがスポーツに親しみ、健康な心身をつくる趣旨で制定されたこの日、青壮年の駅伝競走、老若男女のフリーマラソン、歩こう会が開かれた。参加された方がたは、最も祝日の趣旨に忠実であると称えた。

■11日（金）県消防補償等組合議会が秋田市で開かれた。

■13日（日）北秋田盲人会福祉協会十周年記念式典に出席講師いわく「皆さんが積極的に出歩くことで健康者の理解も得られ、社会参加することになる」と力説された。

■14日（月）東北電力から防犯灯が六基寄贈された。善意が生かされるよう、緊急度の高いところから早めに設置したい。

第21回町民駅伝大会で

綴子が全種目を制す

十月十日の「体育の日」に、鷹巣競技場で第二十一回町民駅伝大会が行われ、青年の部で綴



職場の部



青年の部



壮年一部



壮年二部

子Aが十四連勝するとともに、壮年一部と、ことし新しくもつけられた四十五歳以上の壮年二部でも綴子が優勝しました。

〔青年の部〕三十二・四〇
 一位〓綴子A（高橋喜久雄、佐藤美智男、高橋富美雄、伊藤和喜、今川満良、太田昭博、金沢司、高橋克典、内山正博、村上義幸）1時間40分33秒〓二位〓坊沢1・40・59〓三位〓栄1・51・28〓四位〓綴子B

〔職場の部〕十九・六〇
 一位〓役場A（宮腰正樹、畠山誠、米沢田茂、小松正彦、畠山孝秀、鈴木裕悦）1時間00分

〇二秒〓二位〓ガクヤ1・01・01
 〓三位〓クラウン1・03・32
 〓四位〓県職〓五位〓役場B

〔壮年一部〕十一・二〇
 一位〓綴子（佐藤正富、畠山昭、簾内春光、出川吉弘、佐藤正男、小松政博）36秒19秒〓二位〓沢口37・22〓三位〓鷹巣38・42〓四位〓坊沢〓五位〓七日市〓オープン〓七座

〔壮年二部〕九〇
 一位〓綴子（鈴木一弘、藤島芳男、石川治市、三沢実、斎藤和治、大川孝造）31分39秒〓二位〓沢口32・13〓三位〓坊沢33・28

夜間当番医(夜間診療)の日程表

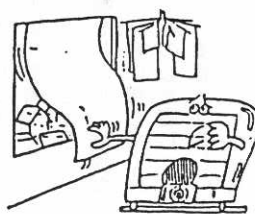
(午後6時30分～9時)

月	曜日	医療機関名
1	金	藤原医院
2	土	佐々木産婦人科医院
3	日	盛岡外科医院
4	月	鷹巣病院
5	火	戸嶋医院
6	水	戸嶋産婦人科医院
7	木	近藤医院
8	金	北秋中央病院
9	土	奈良医院
10	日	戸嶋産婦人科医院
11	月	佐々木産婦人科医院
12	火	藤原医院
13	水	鷹巣病院
14	木	盛岡外科医院
15	金	戸嶋医院
16	土	戸嶋産婦人科医院

秋の火災予防運動

11月3日(日)～11月9日(土)

今年10月まで町内での火災は、11件で損害額は約1億7千万円と近年になく多発しております。これから冬期間にかけて火を扱う機会が多くなりますので家庭・地域・職場で防火についても一度点検しましょう。



怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」

日中友好青年交流

②

9月29日～10月18日

北京

六千^{キロ}の万里の長城に驚かされた

川口・中嶋 司(23)



国慶節の準備が整った天安門広場前で、前列左から成田さん、佐藤くん、中島くん、亀山くん、後列左から藤田くん、小松くん、津谷くん、松尾くん。

■9月30日 私たちが初めて訪れた北京は、権力の象徴であった万里の長城や明の十三陵、中国

の政治の中心とも伝える天安門広場と、古代から現代までの中国を集約して見学することがで

きた。

万里の長城は、周囲の山々が歴史をこえて私たちに問いかけるようだった。遠くへ続く城壁は、切りたつた山々を越えることと六千^{キロ}で、中国大陸の広さにあらためて驚かされた。

八達嶺からの見学コースはファミリーと若者向きの二コースあった。私たちは当然ながら若者コースへ挑戦。初めは張りきって登ったものの、斜度が五〇度位ときつく息ぎれしてしまった。下りも一歩一歩足元を確めないと危険であった。

明の十三陵は、明時代(一三六八～一六四四)の十三代皇帝の墓であり、私たちが見学した定陵のみが発掘されており、広々とした三室の地下宮殿は、建設費が当時の国家予算の二年分というから、スケールの違いに感嘆した。

天安門広場は、南北八百^{メートル}、東西五百^{メートル}で、四百万人の集会が可能だそうで、周囲には故宮や国会議事堂、博物館、中国銀行が集中、北京の歴史と政治が入り混じっていた。

蘭州

両国の友好を誓って記念植樹

前山・藤田寿人(27)

北京のホテルの失敗談は、中国人に間違われたことだった。テーブルについて食事をしていて、ホテルの従業員が私のところに近寄ってきた。口調が激しく怒っているようだった。思

わず「秋田、秋田」といった仲間たちが来て助けてくれたので、ようやく解ってもらいしまった。従業員は平身低頭の謝りであった。私が必死になっていただけに大笑となった。

■10月1～2、5日 シルクロードの通過点に好運にも三泊することができた。北京から飛行機で蘭州入りしたが、不毛の地ともいえるような、茶褐色の山ハダを目下に眺めながらのフライトだったので、物めずらしさも手伝ったか機内の小さな窓は、ほとんどふさがっていた。

千五百^{メートル}の蘭州は街路樹が紅葉し初め実りの秋を感じさせられた。

甘肅省、蘭州はご存じのように、秋田県、秋田市と友好提携して三周年ということで、私たちは大変な歓迎を受けた。秋田の竿灯も同行したので、歓迎宴会、芸能交流などで両国のふれあいと友情が一層深められ、私たちも感動を新たにした。

五泉山公園では両省県の記念植樹が行われ、子々孫々までの友好が誓われました。市を一望する泉蘭山公園は、切りたつた断崖絶壁を登ること七百里、バスの窓から外を眺め

私たちは、敦煌の帰りもまた同じホテルに泊ったので、他の都市より愛着を感じた。ホテル内では、たどたどしい中国語で買物をしたり、雑談などに従業員が気軽に接してくれ、長旅の私たちの心を癒してくれたことが、いま思えば楽しい思い出の一ページとなりました。

感激した友人の恋人との出会い

新田中・成田 恵美子(25)

去年の六月十日、ふとしたことで合川町の県立富田高等学校に留学中の第三次農業技術研修生十人と友だちになった。それまでは、国籍の違う友人をもつなど思いもしなかったのに。今回の訪中が決定したことを彼らに知らせたところ、こんな手紙が届いた。

『今日、あなたのお便りを読んで、すぐ三月十六日の夜のことを思い出しました。あの時は、私もあなたと再会できる日が来るとは思っていませんでした。もし、再会できたとしても、その時、あなたの若い顔はもう見ることは無いと思っていました。しかし、今では再会することは当然です。中日友好交流は政府の間だけではありません。民間交流はますます深くなり、友好の輪を広げるに違いありません。中国と日本は言葉も習慣も違いますが、私たちの生まれ育った国を、ぜひ、あなたに見てほしいのです。皆様のおいでを熱烈歓迎致します』

十月一日、蘭州では張文解、呉海軍、王君榮と恋人の蘭彩琴が出迎えてくれた。そして、六日、西安では劉黎明、段智斌の二人が待っていてくれた。呉海

軍は、はるばる四百キロの道のりを八時間も汽車に揺られて来たのだそうだ。

『好久没見了。見到你我很高興（お久しぶりです。あなたに会えて、とても嬉しいです）』飛行機に乗っている間、ずっとこの言葉を頭の中で繰り返していたのに、目と目が合った瞬間、胸がいっぱいになって、とうとう声にはならなかった。二十年後の再会を約束してから、わずか半年。まさに幻の再会であった。

また、蘭彩琴一家は初対面の私を家に招待し、手造りのギョーザで歓待してくれた。家族ばかりか、彼女の兄の恋人までが私を待っていたのには、本当に驚いてしまった。お互いに心と心が通じてさえば、国籍、言語、習慣の違いは、私たちが考えているほど、重要な問題ではないと思った。

蘭州最後の夜、王君榮、蘭彩琴の二人が、また面会に来た。彼女は持つて来た手紙を差し出しながらこう言った「私たちは、明日あなたの出発を見送りしないことにしました。後ろ姿を見ると、お互いに別れがもつとつらくなるからです。どうか私た

ちのこの気持ちをわかってください」私も同じ気持ちで最後の握手をかわした。しかし、翌朝五時、二人はホテルの前に立っていた。昨晚の約束はどうしたのかと聞いたら、彼女のお母さんが、もう会えないかもしれないのだから、最後まで見送って来るようにと二人に言ったのだそう。とうとう涙をこらえることができなかった。彼女から手渡された封筒には「誕生日おめ

酒泉

砂漠の夕ぐれが感動的だった

綴子上町・小松 正彦(20)

■3日 蘭州から飛行機で約2時間、途中飛行機から見える地上は今まで見た事のない、広い砂漠だけが一面に広がっていた。酒泉はそんな中に、オアシスのように私達を迎えてくれているようでした。

空港から一路バスで嘉峪関へ。万里の長城の最西端にあるという砦は、高さ十一メートル、周囲六百十二メートルで、中にいると当時の状況が自分なりに想像出来、さらには自分が六百年前の中国へ、タイムトラベルしそうな緊張感さえ覚えるものでした。

昼食後、専用バスで敦煌へ向けてシルクロードの旅へ出発。紀元前2世紀頃から東西の交易路として栄えたそうであるが、今でこそ道路の整備が行われ、交

どう！いつまでもお元気で！』と書かれた姐妹峰の絵はがきが一枚入っていた。

私にとって中国は、もはや異国ではない。すばらしい兄弟姉妹の住む心の故郷である。この広い世界の中で、彼らとめぐり会えたことは、私の人生の中で最高の収穫である。真の友情はあらゆる障害を克服し、永遠に続くことを確信する旅であった。

いうことから始まり、多くの隊商が砂漠を越え財宝や宗教を伝えたというこのシルクロードは、たとえ命がけであろうとも、たくさんの人々に夢と希望を与えたのであったと思う。

7時間のシルクロードのバスの旅は、一見何の変哲もない、砂漠の中をひたすら西へ走ると思っていたけれども、途中途中において歴史の発見をするものが出来た。未完成、まぼろしの城といわれる橋湾城をはじめ、数キロおきにある戦国時代の名跡のろし台、ラクダに乗って羊を追いかける遊牧民、風化され自然の神秘をかもしたす岩山、また、始めて地平線へ沈む夕日をシルクロードで見て、



▲秋田県人 100人と甘肅省関係者ら多数が参加して、サルビアの咲きほころぶ五泉山公園にヒマラヤスギの記念植樹が行われた。（蘭州市）

自然の大きさを実感するとともに、当時の人々があの夕日を見て、どんな事を考えていたのか私の心の中に自ずと浮かんでくるような気さえしました。
シルクロードのほんの一部を見ただけではあるが、東西諸

修復が進められていた莫高窟

あけぼの町・佐藤

伸(28)

■4日 甘肅省は蘭州や敦煌といった、シルクロードの中継点として古くから栄えた町があり、東西の文化交流のあとがうかがえる、いろいろな史跡があるところだ。

私達一行はそこで暖かい歓迎を受けました。

蘭州市では市の体育館で、中国の民族舞踊や曲芸などを見せていただいたり、また甘肅省と蘭州市の人民政府による歓迎宴会に招待されるなど、中国側の好意に非常に感銘を受けました。

また人民政府の配慮で、いろいろな史跡に案内していただきましたが、敦煌の仏教遺跡である莫高窟では、私達が秋田県の友人であるということで、普段は公開していない窟も見せていただきました。

敦煌の人民政府でも歓迎会に招待され、中国西域地方の歌や踊りを見ました。演目の一つに、莫高窟遺跡がかつて荒廃しつ

文化の交流に大きな役割を果たし、今でさえも人々に夢と希望を与えるシルクロードの、種々様々な歴史、人々の生き方などを私の心の中に、すばらしい思い出として残してくれました。

あつたときのことを嘆いた詩の朗読がありました。言葉がわからないものの、中国人の、文化遺産を大切にしようというのを感じました。

私達が行ったときも、莫高窟遺跡は、修復、保存のための工事が行われていましたが、日本の技術力で修復等に協力できな

和やかな中国青年との交流会

田沢・亀山 明(30)

■4日 これまで中国のいろいろな面に接してきた。人々の生活、勤勉な国民性、歴史的に貴重な文化遺産、交通事情など、普段の私たちの生活では考えられない点や、数多くの学ばなければならない事などを体験し、生活文化の違いはあるにしても、今後の実生活に役立つものばかりであった。

昨日は、蘭州から空路酒泉へそして酒泉から敦煌までの四百

いものかとも思いました。

日本の文化も、この地を通じてやって来たものがたくさんあるのですから、ぜひ関係機関にお願いしたいと思うのです。

私は今回、初めて中国甘肅省の地を訪れ、この目で広大な土地やさまざまな文化遺産を見、また中国人の心を感じる機会に恵まれましたが、残念なのは、中国についての事前知識に乏しく、行った先々でもう少し勉強して来れば、と後悔したことです。

今後は、真の意味での友好関係を持つためにも、中国、そして甘肅省の土地や人、歴史や経済など、いろいろな学ぶ必要があると思いました。

十萬都市の敦煌は、年間降雨量が少ないので連日の快晴。空気が乾燥して、ほとんどの人がノドを痛めたようであった。



▲万里の長城の最西端にある砦「嘉岬関」は、600前に築造され、二重の城壁をもつ要塞。当時は常時400人の兵士がいたという (酒泉市)

私たち鷹巣阿仁部の青年交流は、当初蘭州市で行う予定でしたが、十月一日が三十六回目の国慶節ということから、青年の多くは古里に帰省しているようで、四日に敦煌で実現した。

最初は、青年の集まりが悪いのではないかと心配していたが、日中、街を散歩していると、若者が、入場券を道行く青年に渡していた。大変な熱の入れように驚いた。

日の暮れかかった七時三〇分から敦煌県人民政府の五階で交流会が行われた。会場には私たち一行三十人位と中国青年が約三百人ほど集まった。

人民政府の高官が、私たちをあたたかく迎えるとともに、青年たちの楽器演奏やモンゴル民族の踊り、デスコ風の踊りなど躍動的な若者の姿が披露された。交流会は和やかな雰囲気の中にも熱気にあふれ、私たちも中国で流れている「北国の春」「四季の歌」で返礼をした。

二時間余りの交流会であったが、友好的であった敦煌の青年に感謝するとともに、いつか再会できる日を約束して閉会となったが、大陸的な大らかさ、純粹で勤勉な中国青年の良さを、私たちの活動に取り入れなければと反省させられました。

西安

歴史のルーツにたどりつく

坊沢・津谷善信(24)

■6日 蘭州のホテルを朝五時に出発し九時すぎには、シルクロードの起点西安に到着した。空港には日本製のバスが待っていた。どこの都市でも同じだが、我々日本人を含めた外人のバスは全て日本製であった。乗用車も八割方日本製であったし、ホテルのテレビも日本製が目立っていた。

西安は、京都、奈良の都路の手下となった都市であり、日本

の歴史にもかかわりのあるところである。古くは中国の都であったので旧所名跡も多かった。私たち一行は、ホテルに荷物を置いて華清池に向った。途中の田園風景は、鷹巢でも見られる光景だけに、家の稲刈りを心配するなど里心が脳裏を横切った。

華清池は、玄宗皇帝と楊貴妃のロマンスの舞台となったところ。驪山の山ふところにだかれ

た華清池は、朱塗りの大きな柱が池に映え、優雅な気品が漂っていた。

紀元前二二一年に天下を統一した秦の始皇帝が即位と同時に自から墓を築いたという始皇帝陵。井戸掘り作業中に偶然発見された兵馬俑は六千体のうち三千体が発掘され、幅六十センチ、長さ二百三十センチのドームに覆われており、歴史とスケールの大きさに驚かされた。

また西安のシンボルとなっている大雁塔は、「西遊記」で有名な三蔵法師が、インドから持ち帰った経典を収めるために、六百年代に建てられたものだそう。

上海

公園では太極拳で体力づくり

太田・松尾幸也(28)

■7日 さすが上海は中国の玄関口である。高層ビルが林立し車の数も中国のどの都市よりも多かった。

街で交わる人も国際色豊かで、日本人もかなり目についた。また中国の若者にも明るさを感じられ、女性のスカート姿は上海ではじめて目にした。

私たちは、市街地から一時間ほど離れたホテルに泊ったが、道路沿いの風景は日本と変わらなかった。適度の降雨量と気候も温暖で、米は四月と七月と七

私たちは、日本の歴史のルーツにたどりついたような気がして、他の地区とは違って親しみを覚えた。



▲1974年、井戸掘り作業中に偶然発見された兵馬俑は、秦始皇帝の守護部隊といわれている。(西安市)

月と十月の二期作、麦が十一月から三月と、三回作付できるとのこと、大変うらやましく思った。

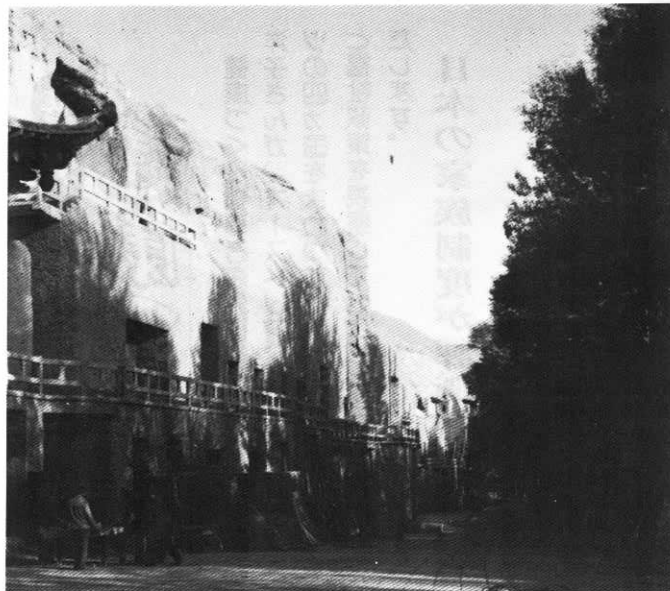
中国の朝は早く、お年寄りには薄暗いうちから、外に出て体力づくりのために散歩をしている。公園などでは太極拳をやっている人が多かった。私たちの泊ったホテルの近くにはグラウンドがあったが、朝の七時半頃まで、全力で疾走する人、体操をやる人など、年齢にあわせて思い思いスポーツを楽しんでいる姿が

見られた。

上海に限らず、ほとんどの都市で見かけた光景であったが、日頃の健康づくりには、私たち日本人以上に気くばりしていることが、改めて感じられ、中国のエネルギの根源を発見したような気がした。

また、中国では治安がよいのだろうか。ホテルでは荷物を広げたまま、部屋を出るにしても錠をかけたことがなかった。

十日間の旅を終えようとしているが、今回の旅行は本当にラッキーだったと思う。鷹巢阿仁広域圏組合の日中青年交流団ということもあってか、甘肅省外事部の職員が私たちに同行してくれ、行く先き先きでは中国旅行社の方々がガイドしてくれたので、国内旅行より気疲れしないで済んだ。



▲莫高窟は紀元300〜1300年間に492の石窟が残され、採色壁画で飾られている。逆像は最大33センチから10センチで約2,000体が安置され、シルクロードの要路としての繁栄がうかがわれる(敦煌市)

海外視察

健康づくり研修ポイント

健康づくり指導者海外研修に参加した町保健婦の畠山洋子さんが、オーストリア、スイス、フランス、西ドイツの四カ国をまわつて、高齢化社会に対処する老人医療と福祉政策を視察してきましたので、次のとおり報告いたします。

日本の家族制度が評価されている

保健婦・畠山洋子(49)

こととして六回目の研修には、全国の保健婦、栄養士が二十人

参加して行われました。

主な研修目的は、高齢化社会に向かっている、我が国の老人問題を、どのように対処すべきかを先進国から学ぼうということでした。

研修先は、オーストリアのウィーン市立ライツ看護ホーム、西ドイツのリラー老人ホーム、ハイデルベルグ市ドイツ赤十字ナースングホームが選ばれました。

各施設を回って驚いたことは、どの施設も公園を思わせる広さと環境のよさで、道路の西側の街路樹は(マロニエ)花が咲き誇り、きれいに手入れされて見ごとでした。また、各バビロン(病棟)には、小さな電車が走り給食が運ばれていました。

老人の食事に
日本食を研究

ウィーン市の高齢化は、一九三四年から始まり、三十七年間で高齢人口は一四%。社会福祉制度は発達しているが、そのために市民は所得の四三%を税金(日本は二一%)として納めているとのことでした。

医療費は一カ月約十萬円で市と保険会社が半分づつ負担しているそうですが、仮に保険に加入していない場合は、生活保護制度から支給されていました。

また、退職金の八〇%は保険会社が管理し、本人には二〇%支給だそうです。

食事は五回食(朝、十時、昼夕、夜食)であり、特別食の人は三分の一で、玄米などの自然食を与えており、ワカメ、ノリ、豆腐などの日本食は老人向きに研究して食べさせていました。さらに、患者が自分の家で食べている味付で、好みのものを与えているとのことでした。

看護ホームの課題は、六カ月以内に健康な体にして家に帰す

ということでした。

リハビリ施設として室内プールや治療機械などがあり、ほかにゲームや手芸などを行っていました。

西独の老人対策
は在宅システム

西ドイツでは、老人用アパート、老人ホーム、特別老人ホームの三つに区分して建てられており、自宅で生活していたときと、同じ条件をつくることに努力している。ボケ予防にゲームに熱中させたり、手芸、絵画、花だんづくりなど、趣味を多くとり入れて指導していました。

西ドイツでも、老人医療費が伸びづけているので、その対策としてオープンシステム(自分の家に住みながら生活できる方法)を採用し効果をあげていました。

このことは、給食サービスや掃除、洗たく、車椅子などのサービスを行うことで、施設入所をしなくともよい人が多くいるからです。

日本では、施設を増やす方向にあるが、外国では日本の家族制度を高く評価していた。老人たちは、ホームに働く職員がどんなに努力して看護しても、やっぱり淋しがり家族に看護してもらいたいと強く望んでいるとのことでした。

幼児教育の徹底
に力を注いでる

西ドイツのケルン保健所では、母子対策を重点に活動しており、五十人の医師がいて、幼稚園や各学校の健康診断をはじめ、毎月一回の訪問指導では、先生や生徒との対話を深め、なんでも相談のついでにいました。青少年問題には二十人の医師と二十人の看護婦が担当し、男女の問題にも直接かわつていました。

幼児教育も大切に、小学校までにしつけや習慣を、きちんと身につけさせること第一にしており、成人教育では手遅れだとしております。

食べ物の好き嫌いは勿論すべてができあがっている成人の教育をしても、効果があがらないとハッキリしているのです。そのためこそ徹底した幼児教育が必要であるといわれます。

私たちは、いろいろな点で日本の良さを見直すチャンスに恵まれ、各国における考えの素晴らしさに触れることができました。この体験を活動にまた生活に生かしていきたいと思えます。



農業者年金

農業従事者にも サラリーマンなみの 年金を



農村においても高齢化社会、核家族化が今や急ピッチで進んでいる今日、喜びや悲しみをくり返しながら誰でも将来は確実にお年寄りになっていきます。

若いうちから安定した老後生活の設計を立て、思わぬ出費や物価変動等を克服し老後に備えるため、農業者年金に加入しましょう。

農業者年金は「農民にもサラリーマン並の年金を」という農業者の強い要望を踏まえ、農業者の老後生活の安定と併せて農業経営者の若返りや規模拡大等を図る目的を持って作られた年金です。

国の責任において 運営されております

農業者年金は、国の責任において運営されており、高率の国庫補助がついているとともに、

物価上昇により年金額が目減りしないような仕組みがとられております。

こういう点が民間の行っている個人年金と異なる点であり、有利となっているわけです。

また、現行制度では新規に加入する場合の加入期限は四十歳ですが、制度改正により、昭和六十一年四月から、六十五歳までに二十年の加入期間を満たせる人も、任意加入できることになりましたので、新規加入の加入期限は四十五歳となります。

従って、今まで四十歳を過ぎたことにより、やむをえず加入もれとなっている方はこのチャ

ンスをいかして加入手続を事前に準備され、昭和六十一年四月には忘れずに加入してください。農業者年金の加入手続、内容などの詳しいことは、農業委員会（六二一一一内線二七〇）又は各地区の農業協同組合へお気軽にご相談ください。

メキシコ地震の 救済金を受付中

皆さんは、新聞、テレビなどですでにご承知のことですが、九月十九日にメキシコ中西部を襲ったマグニチュード七・八の大地震による死傷者は、一万人以上と推定される大規模災害です。

復旧作業のはかどらない現在、現地では不安な生活が続いておりますが、日本赤十字社では救援活動を行うとともに、救援金の受け付けをしておりますので、ご協力くださるようお願いいたします。

▼救援金の受け付け先
鷹巣町花園町十九番一号
鷹巣町役場町民課福祉係内・日本赤十字社鷹巣分区分区あて

役場の執務時間の変更

役場の冬季間の執務時間は、十一月と二月が午前八時半から午後五時まで、十二月と一月は午前八時半から午後四時半までとなりますのでお知らせします。

小規模な農地整備は 3.5%の

非補助農業基盤整備資金 (旧称・非補助土地改良資金) で!

■国の補助を受けない土地改良事業は、土地改良区などのほか、農家個人でも、低利（3.5%）で長期（25年）なこの資金を借りて、事業を行えます。

■おおかたの事業は、必要額のほぼ 100%借りられます。

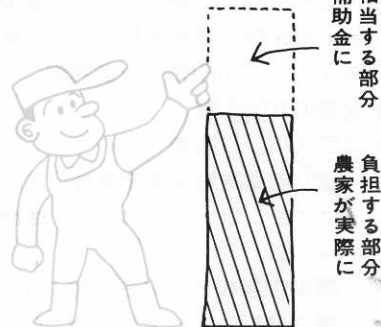
主な事業

かんがい排水、暗渠排水、客土、畦畔整備、維持管理など

相談先

北秋田農林事務所土地改良課、信連北秋田支所、管内土地改良区、管内農協

3分5厘資金を利用すると



鷹巣町合併30周年記念

文化祭と産業祭のご案内



■第17回文化祭……町づくりと文化を考える

鷹巣小学校会場				
区分	催し物	月日	時間	場所
行事	小・中学校の部 学芸発表会 理・社発表会	11月2日	8:40~10:40 11:00~12:30	体育館
	小・中学校作品展	11月2~4日	9:00~12:30	ランチルーム プレイルーム
展示	書道展	//	//	
	写真展	//	//	
	生涯学習展	//	//	1の1・2
	日本画展	//	//	2の1
	絵画展	//	//	2の2
	銘石展	//	//	1の3
中央公民館会場				
区分	催し物	月日	時間	場所
行事	昔むかし伝承・芸能大会	11月2日	13:00~16:00	ホール
	史談会	//	14:00~16:00	3階和室
	ダンスのタベ	//	19:00~21:00	ホール
	邦雅祭	11月3日	13:00~16:00	//
中央公民館会場				
区分	催し物	月日	時間	場所
行事	バレエ	11月3日	10:30~12:00	ホール
	民謡のタベ	//	19:00~21:00	//
	文化財めぐり	11月3~4日	19:00~12:00 13:00~15:00	先着23名 玄関前出発

■郷土資料室は常時開放（分館4教室に展示）

行事	茶 道	11月3~4日	10:00~16:00	2階和室
	食 堂	//	//	調理室
行事	講演(矢羽田正豪氏)	11月4日	10:00~12:00	ホール
	団体親睦カラオケ大会	//	13:30~15:30	//
行事	音楽祭	//	19:00~21:00	//
	盆栽展	11月2~4日	9:00~16:30	1階ロビー
展示	短歌展	//	//	//
	健康展	//	//	1階健康相談室
展示	文化財展	//	//	2階式場
	脳卒中の会生きがづくり展	//	//	2階ロビー
展示	地域展	//	//	2階図書館
	生花展	//	//	3階大教室
展示	幼児作品展	//	//	3階中教室
	アマチュア無線展	//	//	3階ロビー
展示	ボスター展 (文化祭交通安全)	//	//	3階小教室
	チャリテeshopp	11月3日	9:00~15:00	公民館前広場
協賛				
区分	催し物	月日	時間	場所
行事	古典文学	11月8日	13:00~16:00	2階小教室
	読書会	11月11日	19:00~21:00	2階図書館
	俳句会	10月27日	9:30~15:00	中央公民館
	短歌会			

■展示作品は4日の15時まで展示します。

■第5回産業祭……創意と熱意で地域おこし元年

(会場・鷹巣体育館・サブ体育館・勤労者プール)

◆主な展示品

木材・建材・銘木・家具・建具・機械器具・板金・縫製・珪藻土・食料品・農産物・農畜産加工品・森林展

◆協賛行事

工業技術センター作品展・電話展・電力展・切手展・国有林展・役場コーナー・鷹巣阿仁広域特産品展・菊花展・農畜産物即売・生徒作品即売・食料果子みやげ品即売・食堂開設

◆会期中の行事

▼プラスバンド演奏

▽陸上自衛隊駐屯地音楽隊…市内パレード
11/2 11:00~11:30 体育館 13:30~14:30

▽鷹巣中学校 11/3 12:30~13:00

▽鷹巣高校 11/3 14:00~15:00

▼鷹巣太鼓披露会

鷹巣ばやし 銀座通り無限太鼓11/3
11:30~12:00

▼消防ハシゴ車実習 11/2~4 10:00~15:00
体育館広場で(中学生以上)

◆ロボット実演会

(楽しさいっぱいで、自由に遊べます)

▽ラジコンビニールロボット ▼ロボットジャンケン ▼スタンプロボット

◆木彫等名匠の実演

※※※※※※※※※※ 講演会 ※※※※※※※※※※

▽日時…11月4日 午前10時~12時

▽場所…鷹巣町中央公民館ホール

▽演題…「おおやま独立国の30年」

▽講師…大分県大山町農協渉外部長
矢羽田 正 豪氏

期間中 10:45~16:00まで30分毎に、役場~体育館無料バスを運行

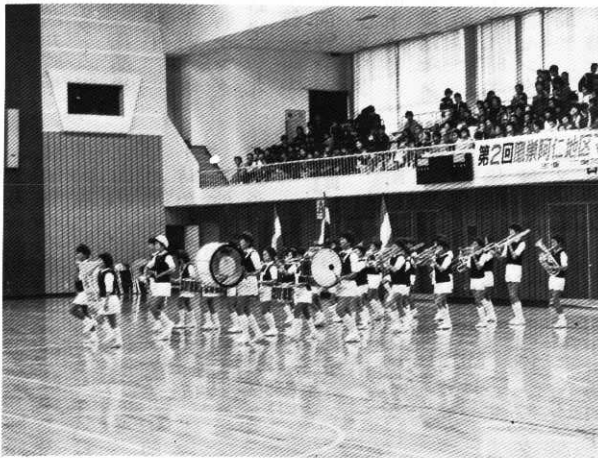
第二回鷹巣阿仁地区マーチングフェスティバルが、十月十九日午後一時から鷹巣体育館で開催され、十団体が華麗な演奏ぶりを披露しました。

町からは三団体が出演。ルンビニ幼稚園と綴子保育園は合同で「ゆかいに歩けば」「チューリップ」を、南鷹巣保育園は「線路はつづくよ」「オペラディ・オブラグ」を演奏し、訪れた七百人余りの観衆から盛んな拍手が送られていました。

また、今回が初出場という鷹巣中学校 brassバンド部は、五十人余りの部員により「さわやかマーチング」などを披露。芸術の秋にふさわしく、見事な演奏とマーチングが繰り広げられていました。

マーチングフェスティバルで

華麗な演技を披露



ボーイスカウトが 発団25周年を祝う

青少年の健全育成と、社会奉仕の精神を涵養するため結成された、ボーイスカウト日本連盟秋田第二十一団（奈良康一委員長）は、十月二十日中央公民館で、発団二十五周年記念式典を開催しました。

同団は、秋田国体の一年前、地域の要請を受けて結成。連盟の県大会や全国大会に出場するとともに、冬期訓練などを行って身心の鍛錬を行い、公園などのクリーンアップ、ひとり暮らしの雪おろし作業、各種大会の奉仕活動などを実施し、町民からも感謝されてきました。

式典には、来賓や団委員、OB、県内各団の隊員などが多数参加して、盛大に祝っていました。

税務課より農家のみなさんへ

水利費・共同作業費・共同防除費及び転作互
助に伴う抛入金内訳書の届出を

町では昭和六十一年度、町民税の申告指導を二月上旬から予定しております。

例年のことですが、共同施設（含個人）による農業関係の諸経費を、各農家の方々から先に届出をしていただき、申告事務を円滑に進めたいと考えねおります。

これまで届出され、控除対象となっている団体（含個人）

には、届出用紙を送付しますが、六十年中に新たに実施した団体（含個人）には、通知できませんので、経費の明細書、領収書、償還金年次表及び購入証明書等を添付し、十一月三十日まで税務課町民係まで届出してください。

※届出諸用紙は、町民税係へ（六二一—一六二）内線・

一一九 一六二

“きりたんぼセット” を贈答品に

ふるさと会の11月直送品は“新米きりたんぼセット（5,700円）”です。

このセットを贈答用として都会の皆さんにお届けします。

ご希望の方は役場農政係（☎62）1111 内線 250）へお申し込みください。



おしらせ



小学校就学予定者の健康診断

小学校の就学予定者健康診断は、次の日程で行われます。受付時間に遅れないようそれぞれの指定する会場校へおいでください。

▽11月5日 綴子小学校（午後〇時三十分～一時）
▽6日 西小学校（午後一時～一時二十分）
▽12日 南小学校（午後〇時三十分～一時）
▽15日 東小学校（午後一時～一時三十分）
▽20日 竜森小（午後一時～一時三十分）
▽21日 鷹巣小学校（午後一時～一時三十分）
▽21日 中央小学校（午後〇時四十分～一時）

結核二次検診

都合により受診できなかった方を対象に、結核二次検診を実施いたします。

場所と時間は次のとおりです。
▽11月15日 上舟木生活改善センター（午前九時半～十時）
葛黒林業センター（午前十時半～十一時）
七日市基幹集落セ

ンター（午後一時～二時半）
▽18日 小森会館（午前九時半～十時）
沢口林業センター（午前十時半～十一時半）
南鷹巣会館（午後一時～二時半）
▽19日 太田児童館（午前九時半～十時）
栄生活改善センター（午前十時半～十一時半）
北健康増進センター（午後一時～二時半）
▽20日 前野会館（午前九時半～十時）
田中生

活改善センター（午前十時半～十一時半）
綴子基幹集落センター（午後一時～二時半）
▽21日 前山会館（午前九時半～十時）
今泉生活改善センター（午前十時半～十一時半）
坊沢公民館（午後一時～二時）
▽22日 中央公民館（午前九時半～午後二時半、※午前十一時～午後一時までは休み）

献血にご協力を

献血車が十一月六日に巡回してきますので、多くの町民が協力くださるようお願いします。時間と場所は次のとおりです。
▽鷹巣高校前（午前九時から午後十二時半）
▽北秋田総合庁舎前（午後二時～四時）

無料調停相談会

大館調停協会では、無料調停相談会を開催します。

町民卓球大会

土地、建物、交通事故、離婚相続等の紛争、その他法律上の諸問題でお悩みの方は、お気軽にお出ください。
▽日時 十一月八日（金）午前十時から午後三時まで
▽場所 大館商工会議所
▽担当者 弁護士、調停委員

町教育委員会、体育協会では、町民卓球大会を開催します。
▽日時 十一月十七日（日）

▽場所 体育館

▽種目 一般男女団体、シングルス・男女オープン・ベテラン（三十五歳以上と四十五歳以上）
▽参加資格 町内在住者、又は町に勤務する者

▽申込期日 十一月十一日まで。
マルモト石油（六二一三五七五）、体育館（六二一三八〇〇）へ

停電のおしらせ

十一月の作業停電は、次の地区です。

▽8日 大堤（午前九時から正午）
▽15日 七日市（一組）

岩脇、横瀬（午前九時から正午）

（訂正） 前回号の人物伝で、

岩谷勇八氏の屋号が清八の家となっていました。が「平八の家」の誤りでした。

ふるさと人物伝

93

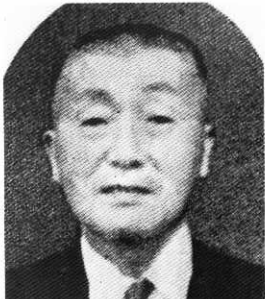
山内清一郎

一九九五—一九七八

昔は小作人階級の家から村のリーダーになることは大変難しいことであった。第十七代綴子村長・山内清一郎は独学力行、よく人々につくし信望を集めた。

清一郎は明治二十八年一月綴子村小田・山内専太郎、フユの長男として生れ、幼くして父に死別、苦勞して育った。小学校の同級生には米沢多助（弁護士）島山喜作（稲作り日本一）がおり、互いによく勉強した。彼も宝勝寺から本を借りてよく読んだ。

綴子小学校高等科卒業後は家で農業に従事するが、よく勉強し学力のある彼は、いろいろな面で村人に頼りにされる。まず、大地主、相馬栄治に認められ、広い相馬の田地の耕地整理組合を任せられ大きな成果をあげる。



昭和十二年から二十五年まで、村会議員となる。よく調査し、信念を持って語る彼の言葉は短いが理路整然として議事をよくリードした。

また、産業組合の結成に努め、やがて農業協同組合へと発展、組合長となる。

昭和二十六年春、おされて村長選挙に立候補、現職の岩谷勇八を破って当選する。

在任中の大きな仕事は大堤に綴子中学校の移転新築、糠沢分校の新築、村有林の管理経営の徹底等である。

「首長として、まちがったことは絶対しない」ことを信条としていた彼であったが、任期間中に病気で倒れる。支持者達に強く押されて病床からの立候補となり、対立候補の岩谷勇八に破れる。

その後、綴子農協組合長、土地改良区理事長などを務め昭和五十三年、八十四歳没。（佐藤与治兵衛、宮野義男、長男山内教郎氏談）文責長崎久

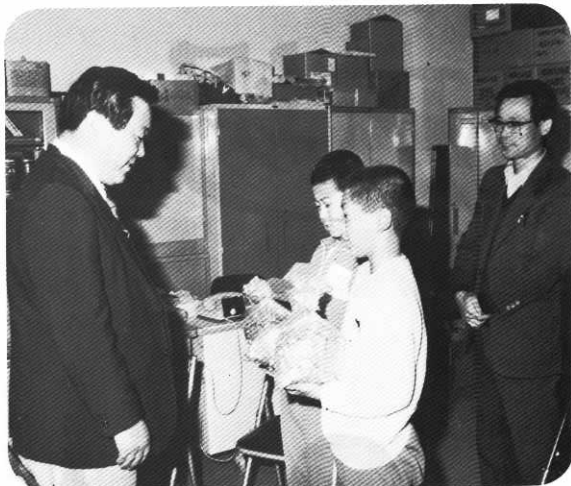


一式が5千円から1万円で

鷹巣スキーレーシングスポーツ少年団（奈良正人団長）では、10月20日中央公民館で、不用になったスキー用品を格安で販売するチャリティーバザーを開催しました。小学生の一式が5千円から1万円でそろえられるとあって、子供づれの父母が多く訪れ大盛況でした。なお、収益金は、スキー場整備に役立ててほしいと町に寄贈されました。

昭和35年から鷹巣町で操業している昭和化学工業株式会社秋田工場（安西孝司工場長）は、町社会福祉協議会に、つくば博の人気商品だった帽子約6千点を寄贈しました。同工場の系列会社が製造したもので、操業25周年を記念し、町への恩返しにと贈呈したもの。子供用は町内の幼稚園や保育園、小学校低学年にプレゼントされます。

つくば博の帽子プレゼント



中央小で恵まれない人にと

中央小学校児童会では、恵まれない人たちに役立ててほしいと、1円や10円玉を10月18日町社会福祉協議会に届けました。同小学校では、アフリカ飢餓の学級新聞を作って張ったり、牛乳びんを置いて、家で眠っている小銭や小遣のつり銭などを持ちよって募金。児童の代表が小銭のいっぱいつまった袋を今野事務局長に手渡しました。

8月にカヌーを作製して進水式を行った鷹巣カヌークラブ（瀬川宗生会長・会員7人）は、10月

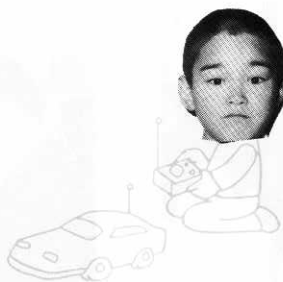
6日（日）米代川を下って能代までの初航海を楽しみました。会員のほとんどが初心者でしたが、日頃の猛特訓で自信をつけ、川下りを決行したものの。午前7時に105号バイパス架橋付近をスタート。3区間で交代して6時間かかりで能代に到着。

カヌーで初航海を楽しむ

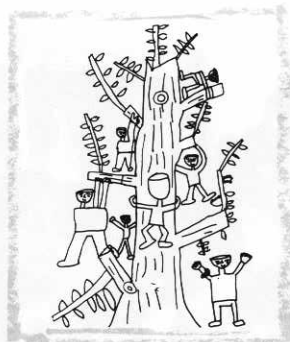


カメラ
レポート

の広場



竜森小学校一年
みかみ ともひろくん



人間だれしも健康でありたいと願い、健康になるためには何かをしなければならないと、常



これまで「私の健康法」をテーマに、それぞれの方から感想を述べてもらいましたが、みなさんの感想や考えがいかされるようにということから、**体育館長・桜庭圭介氏から助言していただきます。**

々思うのですが「言うは易く行うは難かし」の、諺の如く実践することのむずかしさは、みなさんが十分おわかりだと思えます。

日本人の平均寿命は世界一とも言われますが、これは、それぞれの努力もさることながら、医学の進歩も一助となっていることは確かです。

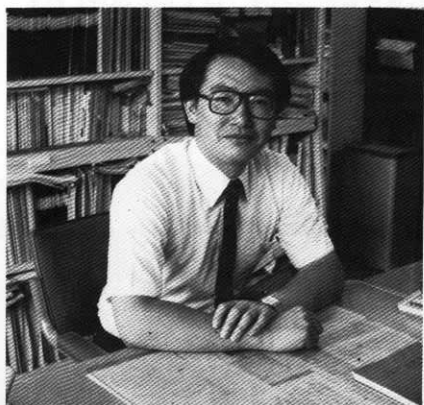
ルーの法則は、スポーツは「やらないと体力が劣り、適度にや



クワ
クワ科

蚕の飼料に栽培される落葉高木。高血圧の予防に乾燥した若葉をこまかくきざみ、お茶がわりに飲む。熱湯でやけどしたとき、秋霜の頃の葉を日干し粉末にしてゴマ油でねってつける。

(南小学校 畠山 益穂先生)



▽一彦さんは、舟見町、相馬吉治さんの長男です。

東京に来て、もう十三年目になりました。中学で数学の教師をしています。勤めて九年目ですが、生活指導やクラブ指導にそれほど追われなくとも、数学の授業に全力を注ぐことができるのが、ありがたく思っています。

六月には二人目の子供が生まれ、妻と長男、長女の四人での生活が始まり、にぎやかになりました。休日には、電車の好きな長男と電車に乗るのが最近の日課です。

さて、東京では、「ふるさ

上京して13年、帰省が生活の節目に

東京都世田谷 相馬 一彦(31才)

とがあつていいですね」とよく言われます。私にとって、春、盆、正月の年三回の帰省は、東京での生活の節、ひとつの区切りになっています。

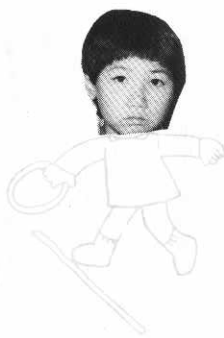
帰省中は、東京での生活の忙しさを忘れ、十数年前の自分に戻ったような気がします。そして、「また鷹巣に帰るまで東京でがんばろう」という気持ちになるのです。

この夏は、十年ぶりで七月下旬のお祭りにも帰り、またお盆には舟見町の第一回納涼大会に参加させていただくなど、楽しい帰省でした。

帰省中、同級生と飲むのも楽しみです。よく「いつ鷹巣に帰ってくるのか」と聞かれます。鷹巣に帰るまで、しばらくは、帰省という生活の節を大切にしていきたいと思っています。



竜森小学校一年
かしわぎ こずえさん



みんな

~~~~~

ると健康になり、やり過ぎると危険だ」といわれております。

「私の健康法」のなかで述べられた四人の方がたは、それぞれにあった健康法を取り入れておられ、本当に充実した生活を送られていることに心から敬意を表するものであり、また、ほかにも多くの方がたが、それぞれの年齢、体力に合せて、健康法を実践されていることと思います。

健康法は、それぞれ違いはあると思いますが、自分が最善と思う方法を、いかに継続させるかが大切です。どんなに長寿の方の健康法をまねしても、長続きしないことにはどうにもなりません。

また、簡単に実行できないのが、規則正しい生活の実践であ

ります。

「早寝、早起は三文の徳」との人が言われていますが、睡眠時間を十分に取らず、暴飲暴食はさけ、栄養のバランスを取ることが大切です。

また、健康でも老後のボケなどの予防として、適度の運動は勿論ですが、友人と親しく交わる趣味をもつことです。趣味を通して多くの人と話し合いをすることも、ストレスの解消になるものです。

また、社会的関心をもち、社会の一構成員であるという、自意識を失わないで、時には若者の考えや行動が理解できることが必要であり、若者も逆の立場に立って、日頃から健康について考え、行動することが大切だと思います。

## 広報のこぼり

十一月一日から十日までは、

「パートタイム労働旬間」です。パートタイムで働く人は毎年増え続け、今では働く人全体の約一割を占めるようになりました。このうち女性は七割を占め、また、八五・九%が既婚者となっています。

このように、パートタイム労働

働は家庭の主婦層を「原動力」として、いることが分かります。

仕事と家庭生活を両立させた人にとって、パートタイム労働は都合のよいシステム、働く人はますます多くなっていくことでしょう。

しかしその反面、雇う側が、労働条件などをはっきりと明示しておかなかったために起きるトラブルも少なくありません。

そのためには雇う側が労働者に適用される就業規則を整備することが大切です。

昭和30年代までの農作業は、町内の組ごとに「結、が行われ、共同で農繁期の作業が行われていた。また秋の刈り入れは稲を馬で運んでハサガけしたり、舟で運ぶという方法がほとんどであった。現在は大型機械とともに農道も整備されているので、作業、運搬とも家族労働力で済むようになった。



## たかのすの昔

# おしらせ



一線美術会運営委員 九島寧二氏

## 十二月の健康相談

十一月の健康相談は、次のとおりです。

健康相談は、十三日と二十七日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで、血圧測定のほか、尿検査、体重測定など行います。

また、午前中は健康教育で、老人のボケ予防について、午後健康体操など行います。

場所は、中央公民館保健相談室です。

対象は、六十一年六月十六日から七月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午後一時から一時半まで。

は、二十八日です。

対象は六十一年三月十六日から四月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午前九時半から十時まで、おいでの時は母子手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

つごうで受診できない場合は次回に受診してください。

対象は五十七年九月、十月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで、おいでの時は母子手帳、問診票を忘れずにお持ちください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

## 母親教室

初妊婦を対象とした、母親教室

室は次のとおりです。

妊娠中から正しい知識を身につけて、充分な健康管理を行い、安心して出産をむかえるよう、ぜひ受講してください。

日程 十一月六日、時間は午前十時から午後三時まで。

場所 中央公民館保健相談室

受講内容 映画、講話、調理と試食、実技など行ないます。

※歯ブラシ、母子手帳、昼食、ズボン(トレパン)をお持ちください。

## 三種混合ワクチン予防接種

生後二十四ヵ月から四十八ヵ月までの出生者を対象に、ジフテリア、百日ぜき、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種日は、鷹巣地区以外の方は二十八日、鷹巣地区の方は二十九日に行います。

受付時間は、午後一時から二時三十分まで。場所は中央公民館ホールです。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。保健婦による育児相談も行っております。

## 善意

鷹巣銀座通商店会(会長・工藤福蔵)から一万一千二百八

十三円

▽伊勢町 佐々木圭子さんから衣類他二十五点  
町社会福祉協議会へご寄付くださいました。

ご芳志に深く感謝いたします。

## 香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽田中 佐藤睦さんから亡父穩さんの香典返し

▽今泉 武田幹一さんから亡母かつ江さんの香典返し

▽材木町 保立了さんから亡長男修さんの香典返し

▽今泉 成田日登士さんから亡父定雄さんの香典返し

## 慶弔だより

10月1日～10月15日

誕生おめでとうございます

工藤 太輔正 長男(元)町  
岩本 幸哉(正幸) 長男(岩)脇  
工藤 裕竹美 長男(花園)町  
大川 広峰(金吉) 長男(深)関

## 今月の納期は

国民健康保険税第五期です

おくやみ申しあげます

津谷 英蔵(63歳) 緑ヶ丘  
保立 修(45歳) 材木町  
石井 周平(61歳) 旭町  
佐藤 ヨシ(79歳) 根本屋敷  
藤原 満(51歳) 坊山  
河田邦之助(78歳) 幸町  
三澤修四郎(61歳) 花園町  
河田 シテ(82歳) 旭町  
佐藤徳之丞(84歳) 小森

佐藤 洗(純一) 長男(坊沢)大町  
照内 達也(忠則) 長男(元)町  
千葉 智樹(要作) 長男(中屋敷)  
小坂 綾子(進) 長女(摩)当  
藤島 恵海(良英) 長女(住吉)町  
畠山 未歩(岩見) 長女(新田)中  
小笠原尚美(秀信) 長女(前)山  
田口佳那子(郁夫) 長女(掛)泥

二人の前途を祝福いたします

九 嶋 義徳 岩脇  
成 田 千鶴子 新田中  
佐 藤 政美 吉ヶ沢  
蝦 名 由美子 青森市  
堀 部 晴彦 葛黒  
佐 藤 順子 摩当  
高 橋 亨一 内幸町  
大 野 洋子 大曲市